

## ◆【海員組合・担当支部へようこそ】 北陸支部の紹介

北陸支部は、福井県を拠点に富山県・石川県の沖合底曳網漁船28社、サンマ棒受け網漁船3社、中型イカ釣り漁船2社、冷凍・冷蔵運搬船2社を担当し、日々の業務にあたっています

### 北前船の寄港地として繁栄

支部のある三国町（福井県坂井市）は、福井県一の大河九頭竜川の河口に位置し、多くの河川が合流することから、古くから河川水運が盛んでした。日本海にも面しているため、越前地域の物資を河川で輸送し、それらを集積して他の地域へ運ぶ物流の拠点でもありました。

江戸時代中期から明治時代にかけては、大阪と北海道間を物資輸送し、これを売買して差益を得る北前船交易が飛躍的に発展しました。三国でも廻船業に力を入れ、日本海側有数の北前船の寄港地として繁栄したのです。

当時の繁栄ぶりは、今も各所に残るレトロな西洋建築や三国港突堤などの建造物に伺い知ることができます。北前船交易での繁栄が色濃く残る三国港付近は、歴史と文化の香り漂う老舗の和菓子店や提灯の店なども残っており、全国屈指のにぎわいであったとの資料も残っています。

### レトロな街並みが人気

明治時代に鉄道が開通し、物流の中心が船から鉄道へ移ると、北前船交易により行き交った人々やにぎわいは徐々に無くなりました。

しかし近年は、当時の面影を残すノスタルジックな街並みの価値が見直され、地元有志らによる街並みや建物の保全をはじめ、空き家を利用したリノベーションによる店が各所に見られるようになりました。レトロな街並みや食を求め、県内だけでなく県外からも観光客が訪れ、にぎわいを取り戻しています。

### 今も残る職人文化

職人文化の残る三国町には、有名な伝統和菓子があります。北前船の船乗りたちから製法を学んだと言われる「酒まんじゅう」や、300年の歴史をもつ三國神社山王の森で鳴く鶯から着想して命名された「鶯餅」は、一度食べたら忘れられないというほどの人気和菓子です。

また、伝統工芸品には「越前和紙」を竹ひごの骨組みに貼り付けた「三国提灯」があり、200年以上の歴史があります。山車が町を練り歩く三国祭り（北陸三大祭りのひとつ）の時期には、三国提灯が各家庭の軒先につるされ、町の人々をつなぐ文化として受け継がれています。

### 名物は越前おろし蕎麦

そして福井県といえば蕎麦が有名です。三国町には代々続く歴史あるおいしい蕎麦屋が健在で、中でも辛味大根のおろし汁とダシを合わせた冷たい「おろし蕎麦」は格別で、おススメの一品です。

北前船が築いた歴史と文化、情緒が漂う三国町。日本海的好漁場が目の前に広がり、底曳網漁船で漁獲した越前ガニは、皇室に献上されることでも有名です。この三国町を訪ねる機会がありましたら、蕎麦とカニはぜひ味わってほしいと思います。

ほかにも、観光名勝の国指定天然記念物「東尋坊」や神宿る島「雄島」など、見どころは盛りだくさん。ぜひ足を運んでみてください。

「海員だより」